

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立	済美中	学校
------	-----	----

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）				
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
4	課題発見解決 力、コミュニ ケーション力の 育成	★	継続	「授業で考えるこ とが面白い」「他 者との対話で考え が深まる」と実感 できる生徒の割合 を増やす。	①単元構成の改善を図り、単 元を貫く「問い」を設定した 授業を実施する。教材や子 どもへの理解を高める研修の実 施。 ②ICTの有効活用を通して、 知識・技能の習得の時間を短 縮し、思考力・表現力を育成 する時間の確保及び質の向上 を図る。クエストエドッケー ションの導入。	①学びのアンケート 「他者の意見を参考 に、考えを整理でき たり、理解が深まっ たりする」90%以 上。 ②学びの調査結果、 県平均（市平均）以 上。									
2	他者とかかわり 合う力・心の育 成		継続	済美6行動の「人 のために動く」活 動を活性化させ、 生徒の自己有用感 を高める。	①行事・部活動・学級活動・生徒会 活動等を通じて、生徒が自ら考え、 主体的に参加できる環境づくりに取 り組む。 ②活動の後に振り返りをするこ とで、生活の中で人のために動くこ とを、生徒同士で認め合えるように する。生徒を教師が支えて、生徒の自 己有用感を高める。	①「学級の係や当番 の仕事、ボランティ アを進んでやってい ます。」90%以 上。									
7	信頼される学校 づくりの推進		継続	学校が楽しいと思 う生徒の割合を増 やす。教職員の働 き方改革を具体的 に進め、やりがい を感じる職場づく り。	①カリキュラム、時間割、部 活動等の在り方の見直しを積極 的に行う。また見直しを もって計画を立て、時間外勤 務時間45時間を超えないよ うにする。 ②教職員がやりがいを感じら れるよう、教職員発の取組を 励行し、職場の活性化を図 る。	①「学校が楽しいで す」の割合を90% 以上。 ②やりがいを感じる 教職員70%以上。 （「よくあてはま る・あてはまる」の 肯定的評価）※前年 度58.8%									

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。